

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2020 年 第 35 週（8月24日~8月30日）

## &lt; 全数把握対象疾患の患者情報 &gt;

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6 人 類型 患者 6 人 血清型 O157 3 人、O103 2 人、O26 1 人
四類感染症 レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	5 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 2 人 <i>Enterobacter</i> sp. 2 人 <i>Serratia</i> sp. 1 人
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	1 人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人 血清群 G 群 2 人
梅毒	1 人 病型 無症状病原体保有者
百日咳	1 人 年齢階級 10 歳代

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

小児科及び内科定点報告疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下の状況で推移している。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 3 人、流行性角結膜炎 11 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 1 人の報告があった。

- 1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症疫学情報担当

TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) まで御連絡ください。

- 2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第35週)

(2020年9月1日 16:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	49			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		19	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病		1	ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症		1	マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	65
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		21	侵襲性肺炎球菌感染症		45
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		6	水痘(入院例に限る)		9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	51	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1	2	梅毒	1	90
急性脳炎		22	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		21	百日咳	1	92
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症*2				

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

\*2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。



感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2020年第35週 8月24日～8月30日)

	合計																			
	-6ヵ月	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	28	-	9	11	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	-	-	4	3	6	14	8	6	6	-	5	1	6	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	402	1	20	39	40	26	42	23	18	23	26	18	71	20	35	-	-	-	-	-
水痘	16	-	-	3	1	1	-	2	3	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	18	1	2	8	1	2	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	5	-	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	95	2	26	42	18	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	16	-	-	2	1	6	3	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	14	-	-	-	2	2	-	3	-	3	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
流行性角結膜炎	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	-	2	-	2	1
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上			
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 ( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第33週 (8月10日～8月16日)

令和2年9月2日

## <全国情報>

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では香川県(0.02)、栃木県(0.01)、兵庫県(0.01)、北海道(0.00)、東京都(0.00)から報告があった。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告は1例と前週と同値であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.68)、鹿児島県(0.30)、佐賀県(0.17)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.79)、高知県(0.46)、鳥取県(0.42)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(1.40)、宮崎県(1.20)、鳥取県(1.16)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は香川県(3.04)、大分県(2.33)、富山県(2.31)、岡山県(2.31)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.60)、岡山県(0.37)、高知県(0.36)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は高知県(0.11)、熊本県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.61)、熊本県(4.32)、大分県(3.31)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.11)、山梨県(0.08)、岩手県(0.07)、香川県(0.07)である。

**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(0.73)、青森県(0.33)、秋田県(0.25)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少し、今週の報告はなかった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2020年 第33週(8月10日～8月16日): 通巻第22巻 第33号 より

## <関東情報>

		2020年 33週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	5	2	-	1	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.00	-	0.01	-	-	-	0.00	-
RSウイルス感染症	報告数	64	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	409	54	9	-	8	20	3	12	2
	定点当たり	0.13	0.06	0.12	-	0.18	0.14	0.02	0.05	0.01
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,072	226	45	8	9	33	31	54	46
	定点当たり	0.35	0.27	0.60	0.17	0.20	0.24	0.25	0.23	0.28
感染性胃腸炎	報告数	3,303	796	54	16	24	173	88	287	154
	定点当たり	1.09	0.95	0.72	0.33	0.53	1.25	0.72	1.20	0.93
水痘	報告数	327	122	13	9	3	29	13	31	24
	定点当たり	0.11	0.15	0.17	0.19	0.07	0.21	0.11	0.13	0.14
手足口病	報告数	336	72	8	2	2	18	9	21	12
	定点当たり	0.11	0.09	0.11	0.04	0.04	0.13	0.07	0.09	0.07
伝染性紅斑	報告数	28	12	-	-	-	2	2	4	4
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	報告数	988	274	17	17	17	52	34	84	53
	定点当たり	0.33	0.33	0.23	0.35	0.38	0.38	0.28	0.35	0.32
ヘルパンギーナ	報告数	1,187	44	8	1	2	8	-	16	9
	定点当たり	0.39	0.05	0.11	0.02	0.04	0.06	-	0.07	0.05
流行性耳下腺炎	報告数	86	27	1	1	2	4	7	7	5
	定点当たり	0.03	0.03	0.01	0.02	0.04	0.03	0.06	0.03	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	93	35	6	-	2	3	5	9	10
	定点当たり	0.14	0.20	0.35	-	0.18	0.08	0.17	0.25	0.29
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	9	3	-	-	-	1	-	1	1
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.09	-	0.04	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	25	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

## 感染症発生動向調査 2020年

- [感染症の流行状況 2020年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第35週](#)

## 感染症の流行状況 2020年 第35週

2020年第35週（8月24日～8月30日）の要点 令和2年9月2日

定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下でした。引き続き、外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	↓	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン